

沖縄県社保協ニュース



沖縄県社会保険推進協議会

会長 新垣安男 事務局長 高崎大史
那覇市古波蔵 4-10-53 健康企画ビル 3階
沖縄民医連内 098-833-3397 Mail:okisyaho@gmail.com

20201101

21期 No.6

《部内資料》

沖縄民医連と医療生協共同で コロナ禍においても県民の受療権を守る コロナ禍における困窮相談事例 無料低額診療のあらたな展開の報告

沖縄タイムス 20. 10.31

県庁で記者会見を
行いました

徳田安春医師にも
ツイッターで紹介
していただきました



徳田安春 (Yasuharu Tokuda, MD MPH) 医師、筑波大客員教授、群星沖縄センター長

コロナの影響で経済的に困窮し 病気でも受診できない人々が 増えてきています

行政は経済援助をすべき 市中流行容認戦略もやめるべきでは

施設	電話番号
沖縄協同病院	☎098(853)1200
とよみ生協病院	☎098(850)7955
中部協同病院	☎098(938)8828
那覇民主診療所	☎098(880)9620
糸満協同診療所	☎098(992)3920
首里協同クリニック	☎098(884)4846
浦添協同クリニック	☎098(870)8060
協同にじくクリニック	☎098(836)1187
やんばる協同クリニック	☎0980(52)1001

無料・低額診療の県内相談先

調査は、広がる困窮の実

新型コロナウイルスの影響で困窮し、必要な医療を受診できないなどの相談が、県内の医療・介護現場で7〜10月に41件確認されたことが、県民主医療機関

連合会(沖縄民医連)などの調査で分かった。受診控

えによる重症化や、休業に伴う収入減で治療を中断している間に亡くなるなど、命に関わる事例も散見された。沖縄民医連の高嶺朝広副会長は「命を失う前にまず相談を」と訴えている。(3・10・12面に関連)

医療を受ける権利を守るため、沖縄医療生活協同組合は来年3月末まで、無料か低額で診療を受けられる対象を拡充。申請手続きを簡略化し、沖縄協同病院那覇市)など9事業所で相談を受け付ける。

調査は、広がる困窮の実

コロナ困窮受診控えも

沖縄民医連 7月以降相談41件

(2020.10.31 沖縄タイムス)

なくなつた男性は、妻もパートが時短になり受診を控えていた中、7月に救急搬送された。脳腫瘍だった。糖尿病を患う別の男性はコロナ禍で休業。生活が不規則になって血糖値が上がり、医療費が払えずに定期受診が途絶え、7月末に

自宅で死亡していたという。沖縄民医連の高崎大史事務局長は「車所有などで生活保護利用を諦める、市町村から短期保険証の発行を不当に拒まれる事例もあった」と報告し

10月30日、沖縄医療生協と民医連共同でコロナ禍における県民の受療権を守る取り組みについて県庁で記者会見を行いました。

報告① コロナ禍に起因する困窮相談事例報告

全日本民医連による呼びかけで7月から9月までで727件の事例が集まり、NHK クローズアップ現代「コロナ禍におけるメディカルプア」として紹介されました。沖縄でも職を失ったり、大きな減収で、受診をためらい、重症化する事例もおきています。保険証がなく、市役所へ相談に行っても、対応が悪いケースが起きています。憲法25条に基づく人権としての社会保障を求め、受療権を守った事例も。すべての職場で住民に寄り添い、SDHのアンテナをはりましょう。

報告② 沖縄医療生協におけるあらたな無料低額診療事業の展開

コロナ禍における受療権を守るため、無料低額診療の適用基準を緩和します。北部初の無料低額診療事業をやんばる協同クリニックで11月1日から開始します。